

このような危険箇所を早期に発見、適切に対応することは、安全な市民生活を守るために欠かせません。しかし、広範囲な道路網の管理を行うには、従来の目視による道路点検を担える人材が不足しているという大きな課題があります。

道路パトロールDXシステムは、AIを活用して道路の損傷、落下物等を自動で発見・報告・管理するものです。車両に搭載されたドライブレコーダーで撮影された映像を送信し、クラウドサーバーに集積された映像をリアルタイムに解析・分析し、問題のある場所を検出・管理します。

検出時に、ポットホール、陥没、クラック、路肩崩れ、落石、落下物など、さまざまな種別に分類し、地図上にマッピング。一目でどのような問題が発生しているのかを把握可能にし、問題への対処行動を迅速に取れるようにします。

システムを導入することによって、広範囲な道路の状況を導入以前よりも容易に把握できるようになります。
これによって情報の網羅性向上が期待できます。

道路パトロールDXシステムは、効果的・効率的なパトロール計画の策定の一助になると同時に、パトロールを行う行政側の負担を削減し、地域住民やその地域を訪れる人々にとって、安全で快適な道路環境を実現できるよう、さらなる改善・強化を図っています。

実施主体	株式会社イーグリッド
実施場所	出雲市
活用技術	AI
支援事業	

